

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。あっという間に令和も7年になりました。令和に入り、コロナ感染症が流行し、今までにない制限をされた生活になってしまいましたが、今では新しい生活として当たり前になりました。包括支援センターでの活動も新しい形として試行錯誤しながら検討し、去年は地域の皆様にも支えられ「みんなのSunSunカフェ」など多くの方に参加して頂く事ができました。今年も地域の皆様にお会いして楽しく学習したり、一緒に活動を行い、この蓬萊地区で元気にいつまでも生活を送る事が出来るように様々な行事を企画していきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

蓬萊地域包括支援センター 所長 五十嵐



= 増えています！詐欺・ないすまし等トラブルにご注意ください！ =

見守り 新鮮情報

ええっ？！



©Kurosaki Gen

工事は半年後から…

雨漏りがあったため、事業者に見てもらったところ「腐っている部分がある」と言われ**屋根工事**をすることにした。**見積り額**が約450万円と**高額**だった

ので、**他社**からも見積もりを取り**比較**しようとしたが「当社は職人がそろっており工事が**早く済む**」と言われたため契約した。工事前に**半額**程度の金額を**支払った**が、足場を組んだ後になって「職人の手配ができず工事は**約半年後**になる」と告げられた。解約を申し出ると解約料がかかると言われ、納得できない。

(60歳代)

高額な前金を支払ったのに…リフォーム工事の契約トラブル

ひとこと助言

- 外壁や屋根などの戸建住宅のリフォーム工事で、高額な前金を支払ったにもかかわらず、なかなか工事が進まないなどの相談が寄せられています。
- 契約する前に複数の事業者から見積もりを取り、費用だけでなく、工期や施工体制、保証内容等についても十分検討することが重要です。
- 高額な費用の全額前払いは避け、完成後の支払いを主とした契約にしましょう。
- 工事が滞った際の備えとして、遅延補償の定め等が契約書にあるか確認しましょう。
- 困ったときは、お住まいの自治体の**消費生活センター**等にご相談ください（消費者ホットライン188）。

前払いは慎重に



見守るくん

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第491号（2024年9月5日）発行：独立行政法人国民生活センター

こんなケースも…！

実際にあったお話です。

①「点検と称し、勝手に屋根に上がって写真を撮っていった」というような業者が来た、というケースが発生しています。そのような場合は、消費生活センターや警察に相談してください！最近リフォーム業者をかたり、強盗の「下見」に来るようなケースが首都圏で多くなっています。北上してくる恐れもありますので、注意をお願いいたします。

②大手通信(電話)事業者を装い、自動音声で「お客様の携帯電話は本日で利用できなくなります。詳しくは1を押してください。」などと案内する電話がかかってきた、という相談が警察に複数寄せられています。音声案内に従い、指定された番号を押すとオペレーターにつながり、氏名や生年月日などの個人情報や聞かれたり、身に覚えのない未納料金の支払いを請求されたりするそうです。また、電話番号が+1から始まるような国際電話からの発信も増加していますので注意が必要です。

※消費者ホットラインは身近な消費生活相談窓口を御案内いたします



消費者ホット
ラインは
118



11.20 認知症講演会を開催

あづま脳神経外科病院・認知症認定看護師
岩谷亜弥さんをお迎えして

今回はみんなのSunSunカフェ特別編！認知症講演会を行いました。講師にあづま脳神経外科病院の認知症認定看護師、岩谷亜弥さんをお迎えしました。「認知症について正しい理解をすること＝住み慣れた地域で安心して暮らしていけること」として、大前提である「人権の尊重をすること、そのために必要な知識、認知症治療の現状や予防について講義いただきました。コグニサイズや負けじゃんけんなどを挟み、脳が活性化する場面も。本人中心のケア、ユマニチュードについてもわかりやすく説明頂き、講演後アンケートでは「認知症に（いずれ）なることに不安がありました、少し楽になったように思います」等、自分や家族が、もし認知症になってもやみくもに恐れるのではなく、正しい理解ができたことで安心することができたという感想を頂きました。当日は50名を超える参加者数となり、参加いただきました皆様、ありがとうございました。

高齢者＝幸齢者
になるように♪



地域の支え
合い発見！

地域のお宝さがし隊♪ 「蓬莱なごみ会たより」

蓬莱町の民生委員でもある佐藤さんは第三町会のごみ会の会報を担当されています。その内容はなごみ会の活動報告や地域住民の方の俳句まで、写真入りでわかりやすくレイアウトされています。今回は、第三町会となごみ会の合同文化祭の準備にお邪魔し、お話しを伺いました。

佐藤さん：蓬莱なごみ会たよりは令和元年から作っていますよ。今年は第三町会となごみ会で共同で文化祭をすることになり、その時にこの会報のバックナンバーを展示することになりました。思い返すと、自分なりに最初のころは写真ではなくてイラストを入れたりしていましたが、ここ2,3年は活動写真を入れたり工夫をしています。令和4年のときに、老人会クラブ連合会ではこの会報が奨励賞を頂いたこともありました。コロナ禍の時はなごみ会の活動自粛もありましたが、会報発行は続け、情報発信を続けていました。発行当初は100部近い配布数でしたが、現在は会員の減少に伴い70部弱と発行数も減っています。今後も長く続けることが大切と思っているので、なごみ会のみなさんに情報をつないでいきたいと思っています。

令和元年から発行を開始し、これまで毎月発行を継続されています。会員の方の楽しみのひとつになっているのではないのでしょうか。「蓬莱なごみ会たより」は地域のお宝のひとつですね。



【チームオレンジへむけて…】認知症サポーター養成講座を行っています！

チームオレンジとは？・・・What's team Orange？

認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりに向けて、本人とともに活動していく「チームオレンジ」。認知症サポーター養成講座を受け、ステップアップ講座を修了しているメンバーと認知症の人自身もチームの一員として活動へ参加します。その目的は認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援すること＝認知症バリアフリーに向けての地域づくりにつながります。

バリアフリーとは、多様な人が社会に参加する上での障壁（バリア）をなくすことです！



桜台・桜寿会

地域の支え合いが盛んな桜台地区。認知症サポーター養成講座を過去に受けておられた方も2名いらっしゃいました！改めて認知症について、サポーターについて皆さんにお伝えしました。BPSDは周囲の対応で症状が穏やかになること、症状緩和の薬やリハビリについてもお話しすると、熱心に聞かれていました。桜台はサロンや木球も盛んである為、認知症の予防として今後も社会参加をすることの大切さに皆さん納得されていました。

チームオレンジ
とともに活動する
仲間になりませんか？



田沢介護予防クラブ

いきも団体でもある田沢介護予防クラブさん。今回は認知症サポーター養成講座を受けていただきました。講義のほか、2人1組で認知症の人役と家族の役になってもらい、何度も同じ質問を受ける体感してもらいました。「他人だったら少しは優しく出来るかもしれないけど、家族で1日中同じ質問をされたらイライラして強く当たってしまうかも・・・」と率直な意見も！その対応方法などを一緒に考えました。



蓬莱地域包括支援センターは蓬莱地区（蓬莱町・清水町・田沢地区）を担当している高齢者の相談窓口です。介護や健康、予防など高齢者に関する相談や手続き等の支援を行っています。相談は無料で、内容に関する秘密は厳守いたします。また、蓬莱包括では介護保険や介護予防、認知症サポーター養成講座等の講演会の依頼も承っております。町会・サークル等々、ご希望の方は蓬莱包括までお電話ください。

蓬莱地域包括支援センター：024-547-2345

